

「自らの命は自ら守る」意識を持ち、適切な避難行動をとりましょう

新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも、

災害時には、

危険な場所にいる人は避難

することが原則です。

知っておくべき5つのポイント

① ハザードマップで危険な場所や避難場所を確認してください。

「自主避難所」、「指定緊急避難場所」、「指定避難所」は、市ホームページでも確認できます。

②避難とは「難」を「避」けることです。

安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。

③避難先は、小中学校や公民館だけではありません。

安全な地域の親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。

④豪雨時の屋外の移動は、車も含め危険です。

やむを得ず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分確認してください。

⑤マスク、消毒液、体温計が不足しています。

できるだけ、持参してください。

伊豆市ホームページ

<http://www.city.izu.shizuoka.jp/>



避難場所の確認はこちら

http://www.city.izu.shizuoka.jp/gyousei/gyousei_de_tail000534.html



ハザードマップの確認はこちら

http://www.city.izu.shizuoka.jp/gyousei/gyousei_de_tail008926.html



今のうちに、自宅が安全かどうかを確認しましょう！

避難行動判定フロー

ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

※ハザードマップは、浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として、自宅の外に避難が必要です。

例外

※浸水の危険があっても、
①洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの高い区域の外側である
②浸水する深さよりも高いところにいる
③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある場合は 自宅に留まり安全を確保することも可能です
※土砂災害の危険があっても、十分堅牢なマンション等の上層階に住んでいる場合は 自宅に留まり安全確保することも可能です。

ご自身又は一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル3
「避難準備・高齢者等避難開始」が出たら、安全な地域の親戚や知人宅に避難しましょう（日頃から相談しておきましょう）

いいえ

警戒レベル3
「避難準備・高齢者等避難開始」が出たら、市が指定している 自主避難所に避難しましょう

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル4
「避難勧告又は避難指示（緊急）」が出たら、安全な地域の親戚や知人宅に避難しましょう（日頃から相談しておきましょう）

いいえ

警戒レベル4
「避難勧告又は避難指示（緊急）」が出たら、市が指定している 指定緊急避難場所に避難しましょう